

# 「ほっとルーム」だより



第91号 平成28年3月3日発行  
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会  
(教育委員会 社会教育課内 Tel 21-5130)

## 新しい学年に希望をもたせましょう。

卒業式や修了式が終わると、新しい学年への進級もまちかです。この1年間の子どもの頑張りや成長を振り返ると同時に、頑張る事や目当てを親子で話し合っ、新しい学年への希望を持たせましょう。



## 子育てアドバイス

子どもが生まれてくれた時の親の愛は無条件だったはず。  
成績がいいから愛するのではなく  
学校に行っているから愛するのではないのです。  
「生まれてくれたこと」  
それだけでうれしく、愛おしかったはず。  
その時のことを思い出しながら、  
子どもに語りかけてみてください。

広木 克行著「絆を深め合う道程」より



## 家庭教育支援事業の説明を行いました。

社会教育課では、来年度、小・中学校に入学する子どもさんをもつ保護者を対象にした入学説明会の機会を使って、「子育て講座」と本事業の説明やスタッフの紹介をしました。

入学に向けて、各家庭ではいろいろと準備を進めていらっしゃることでしょう。子どもさんのやる気や頑張り認め、子どもさんが元気に入学するよう後押ししましょう。

なお、今回、事業説明に伺えなかった学校は、4月の第1回の学年PTAの時に、お伺いしたいと思しますので、よろしく願いいたします。

### さげたい言葉かけ

- ・「もう1年生なんだから、しっかりしないとだめよ」
- ・「お友だちに負けないようにがんばるのよ」



照島小での説明の様子

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内

Tel 21-5130 : FAX 36-5044 : いちき串木野市ホームページ(子育て)

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも訪問いたします。**

## アンケートへのご協力 ありがとうございました。



市内の全小学校の保護者の皆様に、本年度2回目のアンケートをお願いしましたところ、御多用中にもかかわらず、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。今後の取組に活かしていきたいと思っております。  
アンケート結果の概要は、下記のとおりです。

### 1 家庭教育に対する悩みについて

- 「悩みをもっている」約20%。
- 「親子関係」が一番多く「情報や学習の場が欲しい」「しつけの悩み」「相談の場が欲しい」がこれに続いています。

### 2 PTAや家庭教育学級への出席状況及び出席できない理由

- PTA・授業参観は、「ほとんど出席」と「時々出席」を合わせて、約95%の出席があるものの、「PTAのみの出席」が多い。「ほとんど出席できない」が、5%弱でした。
- 出席できなかった理由としては、「開催日」「開催時刻」が約30%、「その他」も約30%、その他の理由では「仕事の都合」「介護」「人酔いする」等があります。

### 3 周り(地域や保護者同士)との関わりについて

- 多くの人が「ある」と回答。「関わりがない」という回答は平均7%でした。

### 4 「ほっとルーム」だよりについて

- 「毎号読む」と「時々読む」を合わせると約95%の保護者に読んで貰っています。
- 「子育てする親に元気がでるメッセージやアドバイスがあり楽しみです」「ほのぼのします。他の学校の活動も知れて良いです」等のコメントがありました。

### 5 長子家庭の訪問について

- 約90%の保護者が「良い取組だ」という意見でした。「その他」では、「希望者のみ」という意見や「新1年生のいる全家庭の訪問も良いと思う」等のご意見もありました。

### 6 「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」について

- 約95%の保護者が「良い」という回答でした。
- 「皆さんのために相談の場があるのは良い事だと思う」「仕事などでなかなか悩みを話す機会がない」等の意見もありました。

## 第2回いちき串木野市 家庭教育支援連絡協議会を開催しました。

2月17日(水)に、本年度2回目の家庭教育支援連絡協議会を開催しました。

事務局から、本年度の家庭教育支援事業の取組やアンケート結果等について説明を行いました。委員の方々からは、「良い取組だ。続けて欲しい」、「孤立しがちなご家庭への更なる手立てが必要」等、貴重なご意見をいただきました。

今後も各団体等との連携を深めながら、取り組んでまいります。

